

## 中学校第2学年 学級活動学習指導案

### 1 題材 「熊子の憂鬱（スライド教材）」

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

（ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成）

### 2 題材設定の理由

#### （1） 題材について

本時の題材である「熊子の憂鬱」はSNSによるネットいじめを取り上げたものであり、最近のニュースでも取り上げられている話題である。いじめなど対人関係トラブルの防止のために、情報モラルの指導とともに、自己表現力やコミュニケーション能力を育てていくことが急務であると考えられる。

#### （2） 生徒の実態

平成29年度11月の内閣府の調査によると、中学生の携帯電話の所持率は66.7%で、そのうちスマートフォンの所持率は58.1%である。調査が始まった平成22年度の調査と比較すると、スマートフォンの所持率はわずか7年で1.3%から58.1%へと約50倍にも伸びている。本学級の生徒も半数以上がスマートフォンやタブレットなどを所持している状況である。学校生活においては、周囲の人とのコミュニケーションの中で思ったままを発言し、相手を傷付け、トラブルになるケースがよく見られる。5月に実施したハイパーQUの検査結果によると、自己表現力に課題がある生徒が少なくない。また、様々な悩みを抱えている生徒もいると考えられる。

### 3 指導のねらい

○対面によるコミュニケーションの大切さに気づき、その認識を深める。

○自己表現力やコミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係づくりに生かそうとすることができる。

### 4 評価の観点と評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員として の思考・判断・実践	集団活動や生活について の知識・理解
評価 規準	望ましく、円滑な人間関係の確立に関心を持ち、自己表現力やコミュニケーション能力を高めようとしている。	学級や学校内、家庭、地域等の人間関係について振り返り、その集団の中での行動や生き方について考え、判断し、望ましい人間関係を確立しようと実践している。	人間関係を形成する力や他者への思いやりや正義感、連帯感や協力し合うことの重要性などについて理解している。

5 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

自分と他人を尊重し、意見や気持ちを適切かつ豊かに伝え合い、分かり合えるようにする。

6 人権教育上の視点

- (1) 互いに伝え合い、分かり合うために、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を身に付けている。（価値・態度）
- (2) 相手の立場を考え、他者の権利を侵害せずに、自分の思いや考えを適切に伝えることができる。（技能）

7 展開の過程

(1) 事前の活動と生徒の活動

活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
帰りの会 (学級全員)	・SNS利用に関するアンケートを実施	・SNSを利用していない生徒に配慮しながら行い、学級活動の題材を予告する。	・望ましいコミュニケーションについて、興味・関心をもつ。 (関心・意欲・態度) 【観察】

(2) 本時の指導と生徒の活動

ア 本時の活動テーマ「望ましいコミュニケーションについて考えよう」

イ 本時のねらい

○対面によるコミュニケーションの大切さに気付く。

○他人との関わりの中で、自己の発言や行動を見つめ直し、望ましい人間関係づくりに生かそうとする意欲を高める。

ウ 本時の展開

◎人権教育上の配慮

	活動の内容	指導上の留意点 ◇目指す生徒の姿(評価の観点) 【評価方法】
活動の開始	1 SNS利用に関するアンケート結果の確認 ・利用率が高いことなどを知る。	・アンケート結果から、SNSは利用率が高く、多くの生徒にとって身近な存在であることを確認する。
	2 情報の拡散の体験 ・アイスブレイクとして、情報拡散を体感する活動を行い、個人情報や他人に迷惑をかける情報の拡散がいかに重大なことかを理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">全員起立し、紙を渡された生徒はその紙を半分に切って、その紙を他の人に渡した後、着席する。紙を受け取った生徒も同様に行っていく。紙を受け取っていない人がいなくなるまで行う。</div>	・活動が終了したら、この活動がインターネットの情報拡散を体感するものだったことを伝える。 ・インターネット上の情報拡散が非常に速いこと、また、情報が個人情報や他人に迷惑をかける情報であった場合、重大な事態になることを気付かせる。

活動の展開	<p>3 本時のねらいと学習内容の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライド教材「熊子の憂鬱」を見る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレーションと画面のSNS上のやりとりを読みながら、スライドを映写していく。</li> </ul>
	<p>[スライド教材] 「熊子の憂鬱」</p> <p>クラス替えで仲のいい友達と離れてしまった熊子は、学級で孤立していた。そんなとき、同じ学級のウサ子が熊子にSNS仲間にならないかと、声をかけてきた。熊子はウサ子とSNSでやりとりするようになる。ところが、ウサ子がSNS上にチェリ子の悪口を書き、熊子に同意を求めてきた。チェリ子の悪口を書きたくない熊子は、ウサ子の書き込みに対して反応しなかった。これに腹を立てたウサ子は、SNS仲間の中で熊子の悪口を書き始め、熊子が「ネットいじめ」のターゲットになってしまう。そして熊子は、「SNS残し」にあう。思い悩んだ熊子は引きこもるようになり、学校に戻れなくなってしまった。</p>	
	<p>4 小集団での意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「熊子の憂鬱」を見て、気になったことをワークシートに記入し、同じ班の人に紹介する。</li> </ul> <p>5 役割演技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊子がウサ子に、チェリ子の悪口を言うのはよくないことを、SNSで伝えることを想定して、20字以内でその文章を考える。</li> <li>・班の中で2人ずつペアになり、1人がウサ子になって「チェリ子、調子こいてると思わない？」と言ったら、もう1人はワークシートに書いた20字以内の文章を話す。その後、役割を交代して、再び会話をする。</li> </ul>	<p>◎コミュニケーションに関する課題について、生徒が積極的に取り組めるよう、身近で具体的な事例を取り上げる。 (価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班の中での紹介が終わったら、熊子が「ウサ子に、チェリ子の悪口を言うのはよくないことだ、と伝えられなかったこと」に着目していくことを説明する。</li> </ul> <p>◇積極的に自分の考えたことを記入し、紹介しようとしている。 (関心・意欲・態度) 【観察、ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの特徴である、スタンプという絵を用いて伝える、ということ考えた生徒は、そのスタンプの絵をワークシートに書くよう、補足する。</li> <li>・ペアでの会話が終わったら、何人かの生徒に、どのような文章を書いたか、発表させる。</li> <li>・生徒が発表した文章の他、「チェリ子がかawaiiそうじゃないの!」「みんなSNS仲間だから悪口やめなよ!」といった、代表的な文章を紹介する。</li> <li>・20字以内という字数の文章や、スタンプという絵を用いて、相手のことを思いながら自分の考えを伝える文章を書くのはとても難しいということに気付か</li> </ul>

	<p>6 話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「太郎のくせに生意気だぞ！お前は、俺様の言うことが聞けないのか！」（ユウ [You] メッセージ）と「太郎さん、しっかりして！私は、太郎さんに、これから言うことを聞いてほしいの。」（アイ [I] メッセージ）の、どちらの言い方がよいかを考える。</li> <li>・ワークシートに、アイメッセージで、「熊子がウサ子に、チェリ子の悪口を言うのはよくないので、やめるように提案する」文章を記入する。</li> <li>・ワークシートに書いた文章を、同じ班の班員に紹介する。</li> <li>・班の中で最も花子風なアイメッセージの文章を話し合いで選び、順番に発表する。</li> </ul>	<p>せる。</p> <p>◇相手の気持ちを考えて文章を考えている。 （思考・判断・実践）【観察、ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私を主語にして私が感じていることを伝えつつ、相手を気づかう言い方のアイメッセージが、相手の受ける印象がよいことに気付かせる。</li> <li>・アイメッセージで文章を書いてみることで、インターネットではない、対面によるコミュニケーションの大切さを理解させる。</li> </ul> <p>◎どのようなメッセージが望ましいのかを具体的に実感させるために、相手を傷付けることなく、自分の考えを適切に伝えられている表現を選ぶように助言する。（技能）</p>
活動のまとめ	<p>7 活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを確認しながら、インターネットを用いたコミュニケーションの限界と、対面によるコミュニケーションの重要性を理解する。</li> </ul>	<p>◇インターネットを用いたコミュニケーションの限界や対面によるコミュニケーションの重要性を知り、望ましい人間関係作りに生かそうとしている。 （関心・意欲・態度）【観察、ワークシート】</p>

### （3）事後の指導と生徒の活動

活動の場	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価の方法
帰りの会 （学級全員）	・ワークシートの振り返りの紹介	・メッセージを添えて返却し、個に応じた助言を行う。	・適切なコミュニケーションを図り、よりよい人間関係づくりを目指している。 （思考・判断・実践）【観察、ワークシート】

# 熊子の憂鬱

年 組 番 名前

---

1 熊子の行動で気になったことを、思いつくだけ書き出してみましよう。

<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>
<input type="radio"/>

2 書き出したことを、班の人たちに紹介しましよう。

3 熊子がウサ子に、チェリ子の悪口を言うのはよくない、ということを、SNSで提案した場合の文書を、20字以内で書いてみましよう。


4 班の中で2人ずつペアになり、1人がウサ子になって「チェリ子、調子こいてると思わない?」と言ったら、もう1人はワークシートに書いた20字以内の文章を話してみましよう。その後役割を代えて、同じように会話してみましよう。

5 次のどちらの言い方がよいですか?

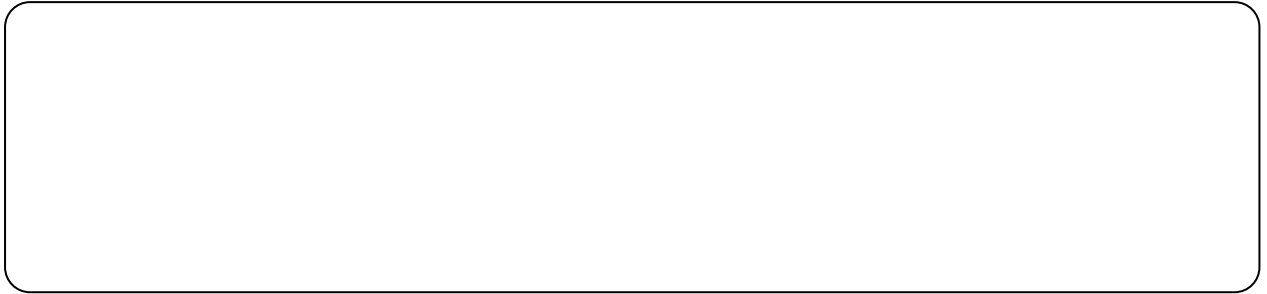
次郎

太郎のくせに生意気だぞ!  
お前は、俺様の言うことが聞けないのか!

花子

太郎さん、しっかりして!  
私は、太郎さんに、これから言うことを聞いてほしいの。

6 花子風のアイ [I] メッセージで、熊子がウサ子に、チェリ子の悪口を言うのはよくない、ということを提案した場合の文章を書いてみましょう。



7 アイ [I] メッセージで書いた文章を、同じ班の人たちに紹介しましょう。そして、班の中で最も花子風な文章を話し合いで選び、発表しましょう。

花子

